

# 空港利用の価格設定の航空市場競争に与える影響

—ローコストキャリアを中心として—

二村真理子  
NIMURA, Mariko

愛知大学経営学部准教授

## 1—序— 航空市場競争とLCC

1970年代末から始まった世界的な民営化, 規制緩和の流れを受けて航空業界, または空港運営にはさまざまな変化が生じている。たとえば欧米におけるローコストキャリア (low-cost airlines:LCC) の参入やその活発な活動, また空港間競争の進展はこの影響を受けたものと見られている。

本稿では空港使用料金が航空市場の競争に与える影響について明らかにしたFu, Xiaowen, Mark Lijesen, and Tae H. Oum (2005) の議論を中心に紹介することにする。

## 2—LCCのビジネスモデルの特徴と現状

まず, 航空市場の競争の進展に大きな影響を与えたLCCとはどのようなものであろうか。草分け的存在のサウスウェストをはじめとして, ヨーロッパのライアンエアやイーゲージェット, いよいよ日本への運行を開始したオーストラリアのジェットスター等々が知られており, 一部のLCCは既存の航空会社 (full service airlines : FSA) の地位を脅かす存在にまで成長している。LCCはしばしば「格安航空会社」と訳されるとおり, 航空運賃をFSAよりも低く設定するのが基本である<sup>注1)</sup>。そしてこの運賃を実現するために, 路線は比較的短距離で, 機内サービスは行わず, 空港も第2空港や非混雑空港を利用するなどの費用削減努力を行っていることが特徴として挙げられる。ただし, その実際の運営については様々なビジネスモデルが存在しており, 一概に説明できるものではない。たとえば, Warnock-Smith et al. (2005) ではLCCは1. 設立の背景 (新規参入であるか既存企業が形態を変えたものか), 2. 所有航空機の数などの企業規模, 3. 参入の時期, によって企業行動に違いが生じていることを指摘している。また, LCCは付随するサービスは行わないことが多いとされる一方で, 一部の企業では機内サービスやマイレージサービスの導入なども見られ, 各社のサービスのレベルにも差が生じている状況にある。

## 3—LCCの空港選択要因

LCCの特徴にも挙げたとおり, その経営にとって空港選択は重要なポイントのひとつであるとされている。Warnock-Smith et.al (2005) ではLCCの空港選択要因について郵送によるアンケートを基に分析を行っており, 回答が得られたヨーロッパのLCC8社が重視する点として第1に「高需要地域にあること」, 次に「整備の施設があること」, 「スロットが使いやすいこと」, 続いて「空港使用のコストが安いこと」<sup>注2)</sup>との結果が得られたとしている。需要の問題を除けば, 非混雑空港, 第2空港はLCCが望ましいと考える要素を満たすための努力を行う余地があることになる。また, 同論文の筆者は必ずしも空港料金が最も重視すべき点とされなかったことを強調している。その上で非混雑空港や第2空港は新たな需要喚起のためにコスト以外の空港施設などに対しても注意を払う必要があり, そのためにはマーケティングを行うことによって企業ニーズを知ること必要であると指摘している。

さて, アンケートによれば空港選択において料金は第1の要因ではなかったが, やはり重要であることに違いはない。あるLCCは空港使用料金の交渉において大幅な引き下げが実現しなかったために, 当該空港の利用をあきらめたケースもあるという。また, ライアンエアは1998-2000年間に, ヨーロッパの主要空港の平均課金が旅客一人当たり8ドルであったときに, 英国の8つの地方空港に対して平均で旅客一人当たり1ドル以下しか支払っていなかったという指摘もある (Barett, (2004))。この空港使用の料金差は, 同社が低費用による運営を実現する原資の一部となっていると思われる。つまり, LCCにとって空港使用料金は非常に重要な要因のひとつであるということが出来るであろう。

## 4—空港課金が航空市場に与える影響—モデル

さて, Fu et al. (2005) ではLCCの活動と空港利用料金の問題に着目し, 空港利用料金が航空市場の競争に与える影響について分析を行っている。すなわち空港利用料金の水準

が上昇することによって相対的にLCCの活動が阻害されれば、結果的に航空市場における競争にも影響を与えることを、以下のようなモデルを用いて示している。

本稿ではある特定の都市間の航空市場に対して、企業1 (FSA)と企業2 (LCC)がサービスを提供している複占の状態を考えている。両社のサービスは代替的ではあるが、そのサービス水準は異なっており、両社は共謀することなく競争的な戦略をとるものとする。両社が直面するそれぞれの逆需要関数の説明変数には相手企業の需要が含まれるが、この変数にサービス差別化の程度を示す変数“k”を付している<sup>注3)</sup>。また、消費者はサービス水準の低いLCCに対しては低い支払い意思を示し、また価格弾力的な行動をするものと仮定される。なお両社の需要は消費者の効用関数最大化の式から導き出されるものとされる。

以上のような仮定の下で両社それぞれの利潤最大化モデルを解いた結果、FSA、LCC両社のサービス産出量はそのサービス差別化の程度(k)、企業の費用、競争的に行動する程度を表すパラメーターなどに依存して決定されることが示された。そして、筆者がモデルから得た知見は以下の3点である。第1に旅客一人当たりの投入費用が同額上昇したときに、LCCはFSAよりも産出量、利潤ともに相対的に大きく減少するため、LCCはより大きな負の影響を被る。第2に両社とも外生的な投入費用の上昇を消費者に完全には転嫁できない。それゆえ両社とも利潤の損失を被ることになる。第3にもしLCCがFSAと積極的に競争するのであれば、旅客一人当たりの投入費用が同じだけ増加した場合、LCCはFSAよりも産出量を大きく減少させることになる、よってLCCはより深刻な損失を受けることが暗示される。

## 5——同論文が与える示唆

以上の分析より、サービス1単位あたりの投入費用をFSAとLCCに対して同額だけ増加させた場合、LCCには相対的に大きな損害が発生することが示された。筆者は、旅客1人当たりに換算した空港使用料金の上昇、または政府が旅客一人当たりに課す「保安のための課金」のような同額の費用増加の影響を念頭においており、これらの増加分は航空サービス提供の総費用から見ればほんの一部に過ぎないかもしれないが、そのインパクトは小さいものではない、との指摘を行っている。そして、多くの航空会社が現在かろうじて収支を償う経営が行われている状況であることを考えると、このような費用上昇が行われた場合に航空会社は利潤の減少を招

き、また結果的にサービスレベルの低下や一部ルートからの撤退の可能性も予想される。

よって、空港使用料金の水準は航空需要や社会厚生に影響があるだけでなく、航空市場の競争に影響を与えるものである。空港が全ての航空会社に対して同じだけ費用を増加させたときには、相対的にLCCのサービス量や利潤が大きく減少するために、結果的に航空サービスの競争水準は下がることになる。すなわち、空港の価格設定や価格規制に関して独占的価格設定が引き起こす厚生損失の側面についても考慮する必要があるだろう。

## 6——まとめ

航空業界の競争促進、既存企業も含めた業界全体の航空運賃の引き下げなど、LCCの参入が航空市場全体に与えた影響は大きい。低価格を武器に参入したLCCにとって、運行費用を低く抑えることは経営の基本であるとも言え、空港の選択、そしてその料金は重要な要因となっている。本稿で紹介したFu et al. (2005)では空港利用の料金が課金などの外生的な要因で上昇した場合、競争圧力を押し上げてきたLCCの活動はFSAに比して大きく制限されることが示された。以上のさまざまな分析結果から、政策担当者や規制者は価格規制や民営化した空港の規制緩和を考える場合、航空市場の競争に空港使用の料金、課金設定がインパクトを持つことを考慮に入れる必要があるであろう。

### 注

注1) 例えば、ライアンエアはロンドン-フランクフルト間をウェブ価格2,000円程度(空港使用料、諸税抜き、2007年4月)で運行している。また日時によっては0.01ポンド(=2円)という設定も存在する。

注2) 空港使用のコストについては、LCCの中でも新規参入型企業で、かつ2000年以降に参入した企業にとっては特に重要であるとの結果が示されている。

注3) 例えば、LCCの価格= $a-b \times (\text{LCCの需要}) - k \times (\text{FSAの需要})$ と表される。

### 参考文献

- 村上英樹・加藤一誠・高橋望・榎原胖夫 編著(2006)、『航空の経済学』、ミネルヴァ書房。
- Barrett, S. D. [2004], "How Do the Demands for Airport Services Between Full-Service Carriers and Low-Cost Carriers?", *Journal of Air Transport Management*, volume 10.
- Dobruszkes, Frederic [2006], "An Analysis of European low-Cost Airlines and Their Networks", *Journal of Transport Geography*, vol. 14.
- Fu, Xiaowen, Mark Lijesen, and Tae H. Oum [2005], "An Analysis of Airport Pricing and Regulation in the Presence of Competition Between Full Service Airlines and Low Cost Carriers", *Journal of Transport Economics and Policy*, Volume 40, part 3.
- Warnock-Smith, David and Andrew Potter [2005], "An Exploratory Study into Airport Choice Factors for European Low-Cost Airline", *Journal of Air Transport Management*, volume 11.